



平成20年9月17日

各 位

会 社 名 グランディハウス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 福 田 晃  
 (コード番号：8999 東証第二部)  
 問合せ先 常務取締役 齋 藤 淳 夫  
 (TEL. 028-650-7777)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年5月9日に公表しました平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせ致します。

記

## 1. 連結業績予想数値の修正

(1) 平成21年3月期第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,500	260	200	100	1,022.43
今回発表予想(B)	9,800	385	350	175	1,802.82
増減額(B-A)	1,300	125	150	75	—
増減率(%)	15.3	48.1	75.0	75.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	7,711	382	339	189	1,875.02

(2) 平成21年3月期通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	18,000	700	600	320	3,271.76
今回発表予想(B)	19,500	750	650	340	3,512.48
増減額(B-A)	1,500	50	50	20	—
増減率(%)	8.3	7.1	8.3	6.3	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	14,933	496	400	192	1,924.26

## 2. 個別業績予想数値の修正

(1) 平成21年3月期第2四半期累計期間（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,800	70	70	35	357.85
今回発表予想(B)	5,800	165	170	85	875.66
増減額(B-A)	1,000	95	100	50	—
増減率(%)	20.8	135.7	142.9	142.9	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	6,750	318	281	156	1,554.90

## (2) 平成21年3月期通期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,000	230	220	110	1,124 67
今回発表予想(B)	11,000	255	270	135	1,394 66
増減額(B-A)	1,000	25	50	25	—
増減率(%)	10.0	10.9	22.7	22.7	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	12,213	404	331	188	1,890 65

## 3. 修正の理由

当第2四半期累計期間は、国内景気が減速感を強める中、不動産業界においては首都圏の投資物件やマンションを中心として不動産不況の様相を呈する一方、資材価格の上昇など非常に厳しい経営環境が続いてまいりました。

このような中、当社グループでは、本年2月から営業を開始した茨城県・群馬県の地域統括会社である茨城グランディハウス株式会社及び群馬グランディハウス株式会社において、また当社においても営業の中心である栃木県内に県南支社を設置し、地域密着営業の一層の強化を図るとともに、郊外型分譲地に加え市街地中心部の高所得者層向け商品を投入するなど、戸建住宅の顧客層の拡大を目指した商品展開の充実に取り組み、基幹事業である戸建住宅販売事業の強化に努めてまいりました。

このような取組みの結果、受注が昨年12月を底として回復基調が継続していることに加え、茨城グランディハウス株式会社及び群馬グランディハウス株式会社の業績が概ね計画通り順調に推移したことから、当第2四半期累計期間の売上高は、連結・個別とも当初予想（平成20年5月9日公表）を上回る見込みとなりました。また、利益面では、価格競争の激化や資材価格の上昇等により厳しい環境が続いておりますが、売上高の増加が寄与し、連結・個別とも営業利益、経常利益、四半期純利益のいずれも当初予想を上回る見込みとなりました。

通期の見通しに関しましては、足下の受注が堅調に推移していることから、当期下半期は概ね当初予想の水準の売上高を確保できるものと判断しており、前記の第2四半期累計期間の業績予想の修正を加味して、連結・個別とも通期の業績予想を修正いたします。

## (注記事項)

上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上